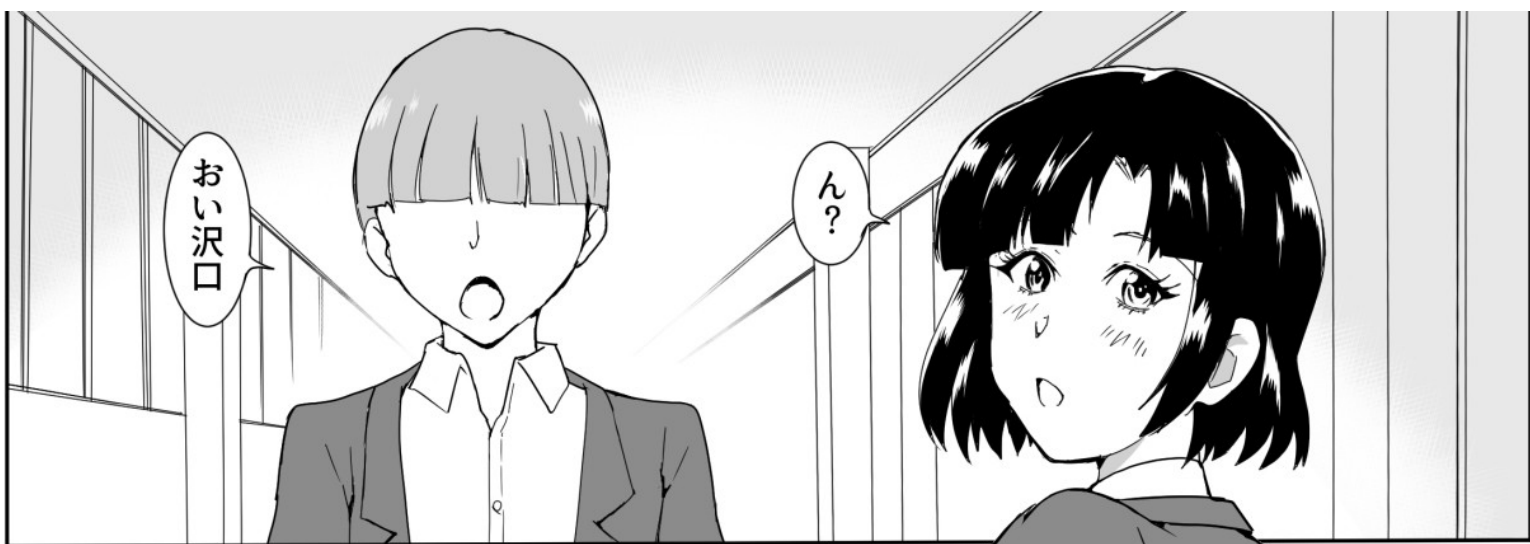
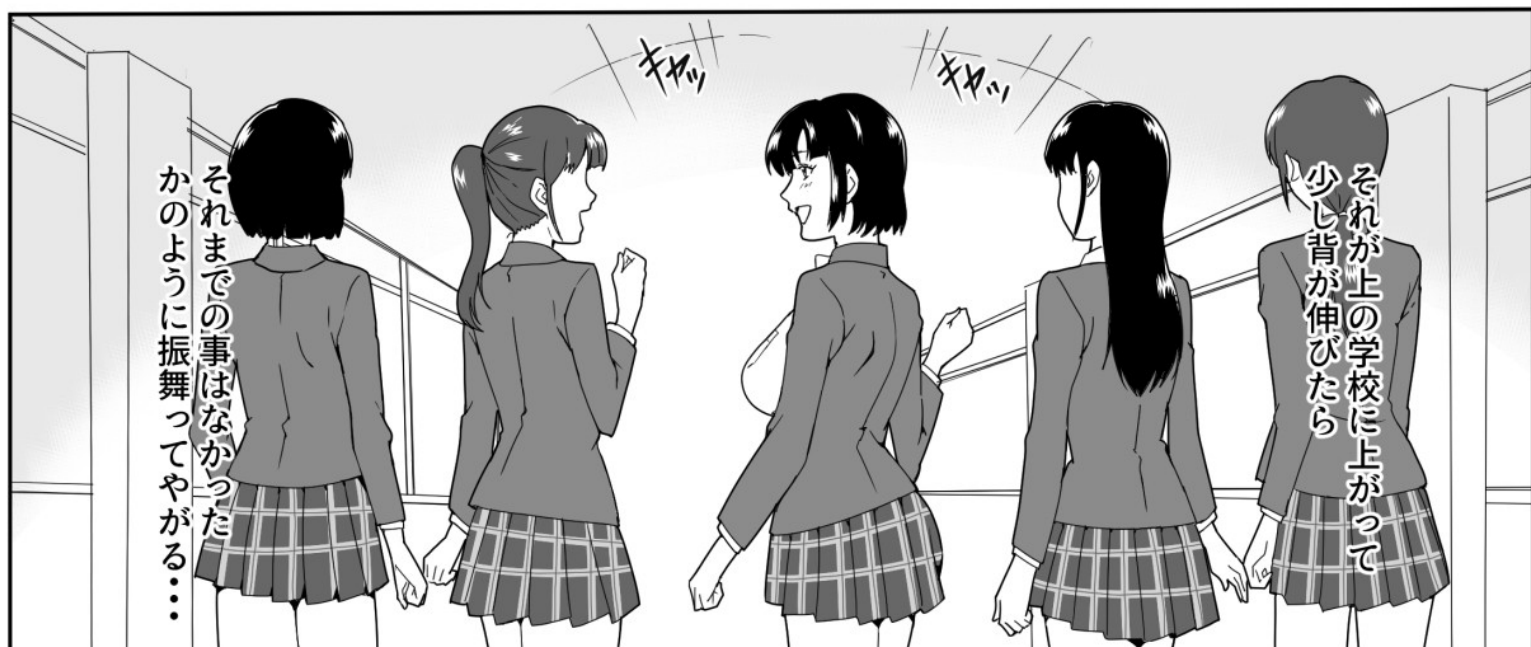
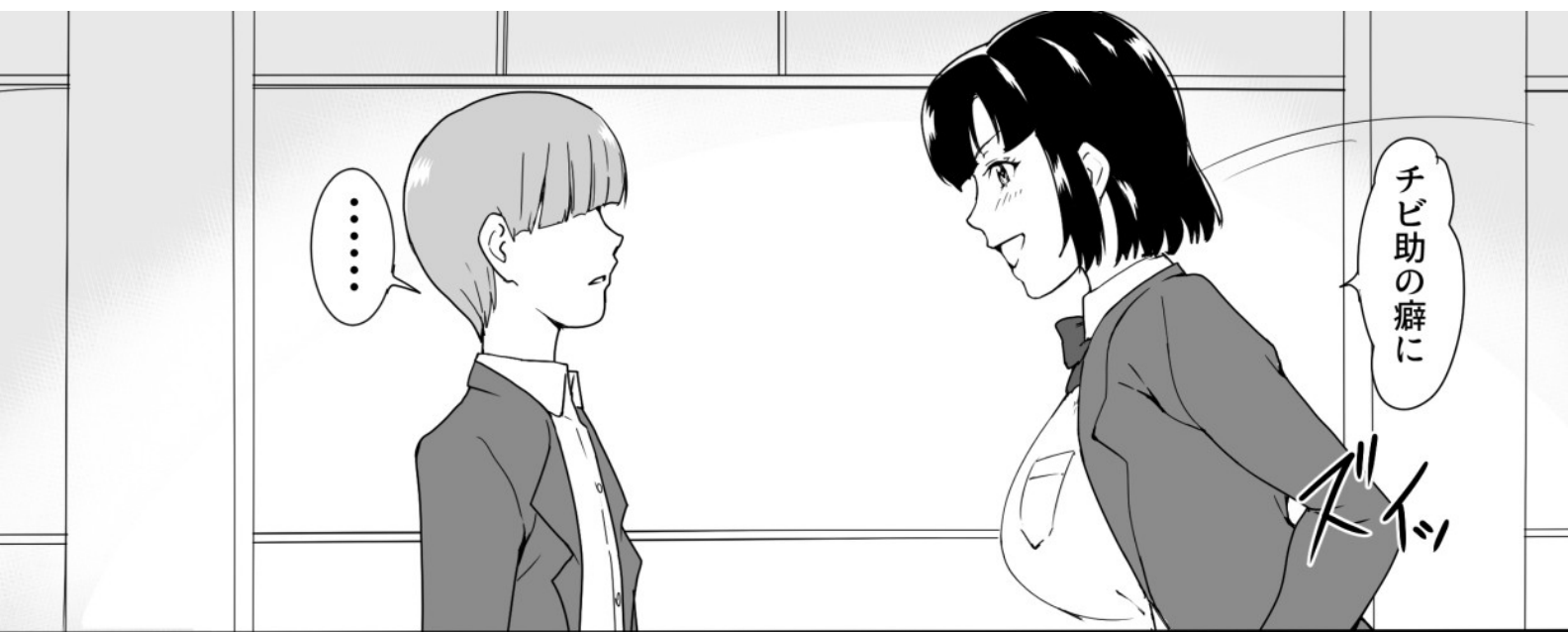


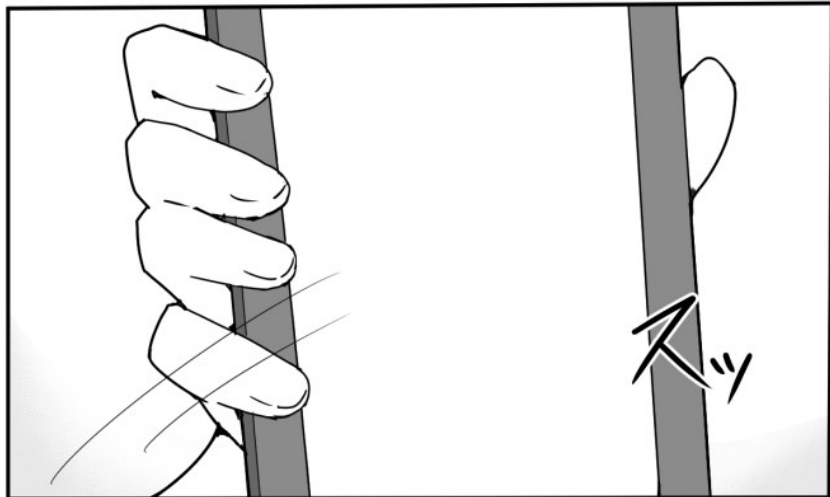
幼劇染催眠





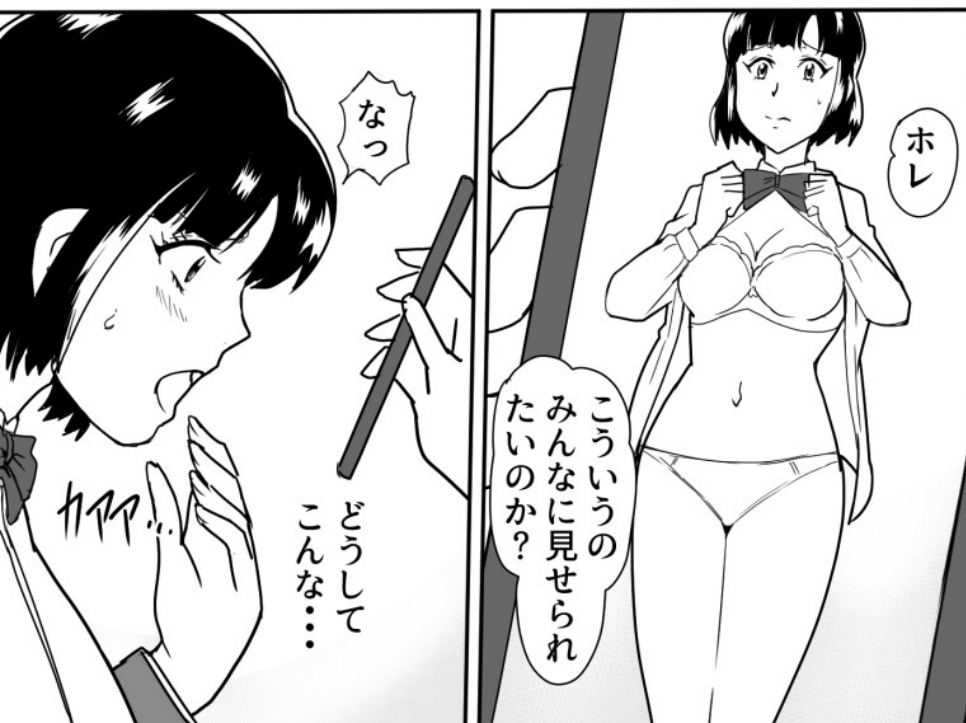
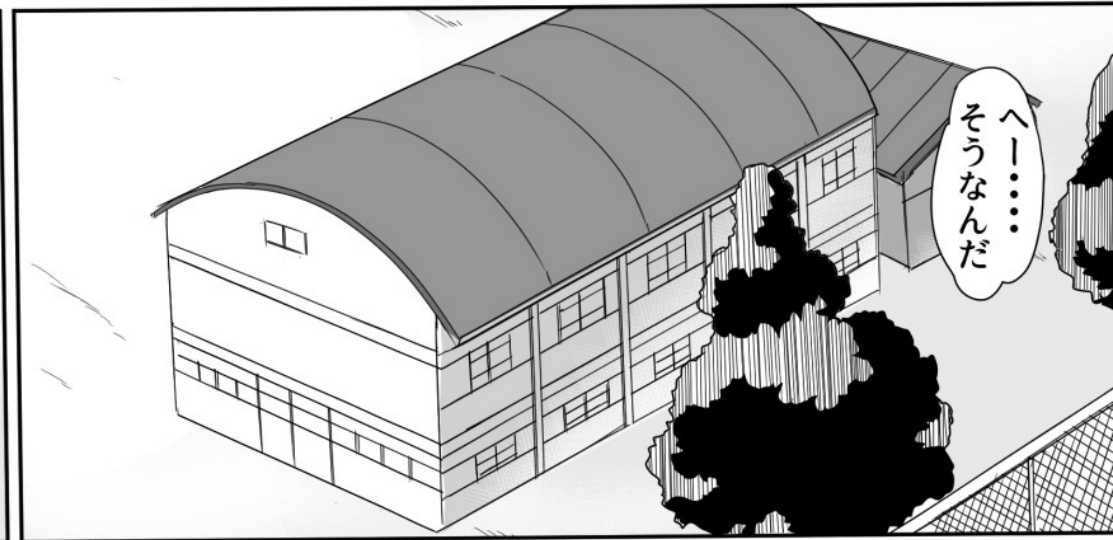


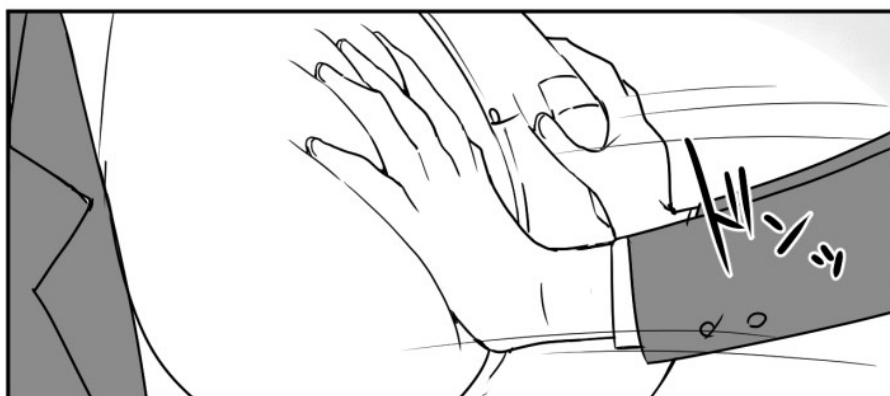
















なんでわたし…
こんなコト

お前は昔から
ボーっとしたところが
あったからな



やだ…身体が
勝手に…

乖離ってやつか…
心と体が分離する
状態になるんだ



じっくり時間をかけて
さっきの合図で

俺の言いなりにな
るよう身体に
覚えさせたのさ



は…はい

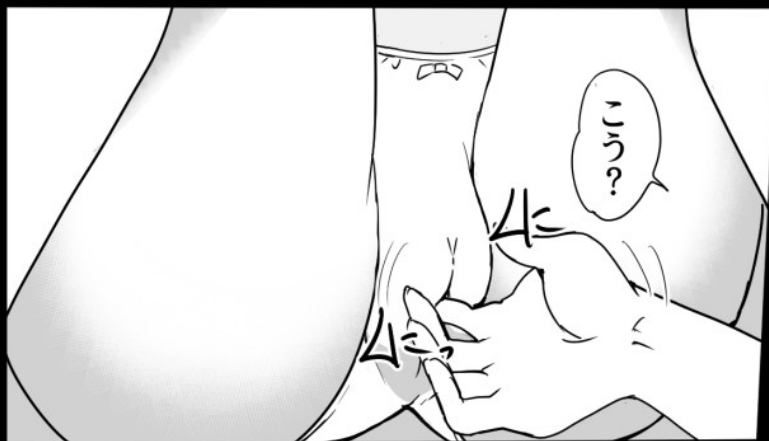
ほらいつもみたく
もっと奥まで咥えろ

ううう…

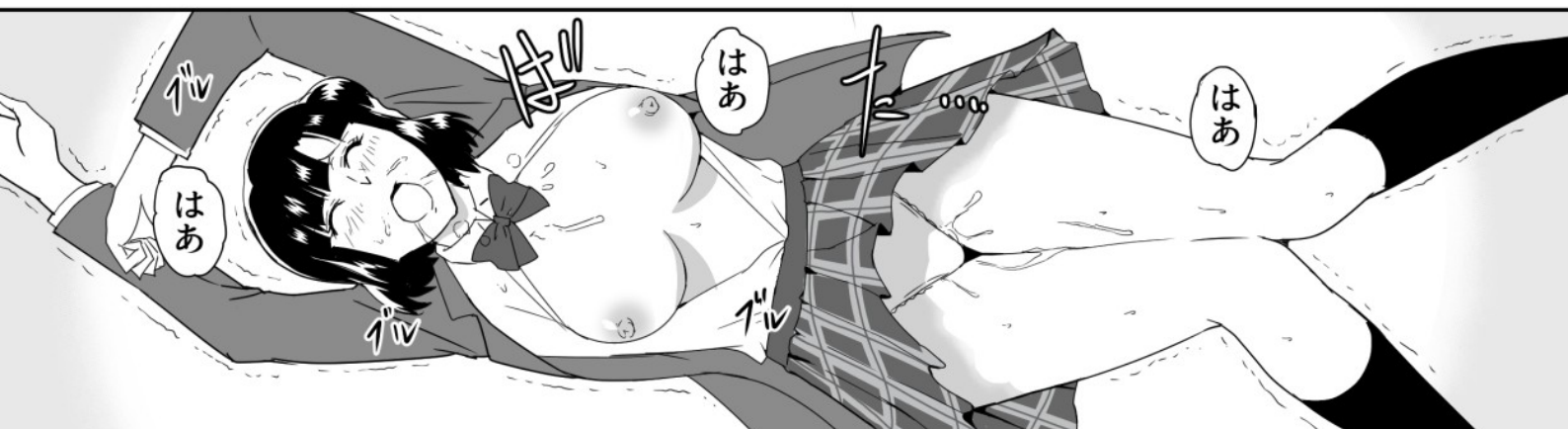
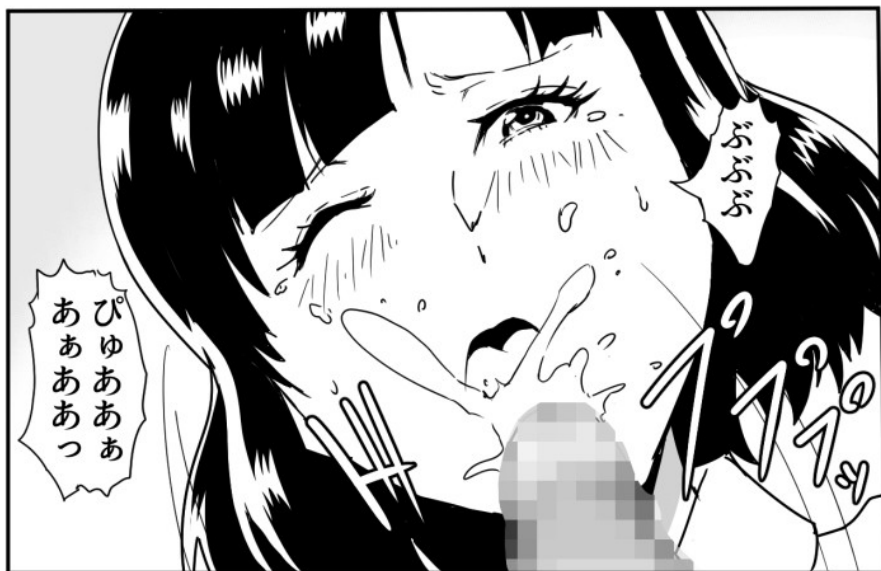


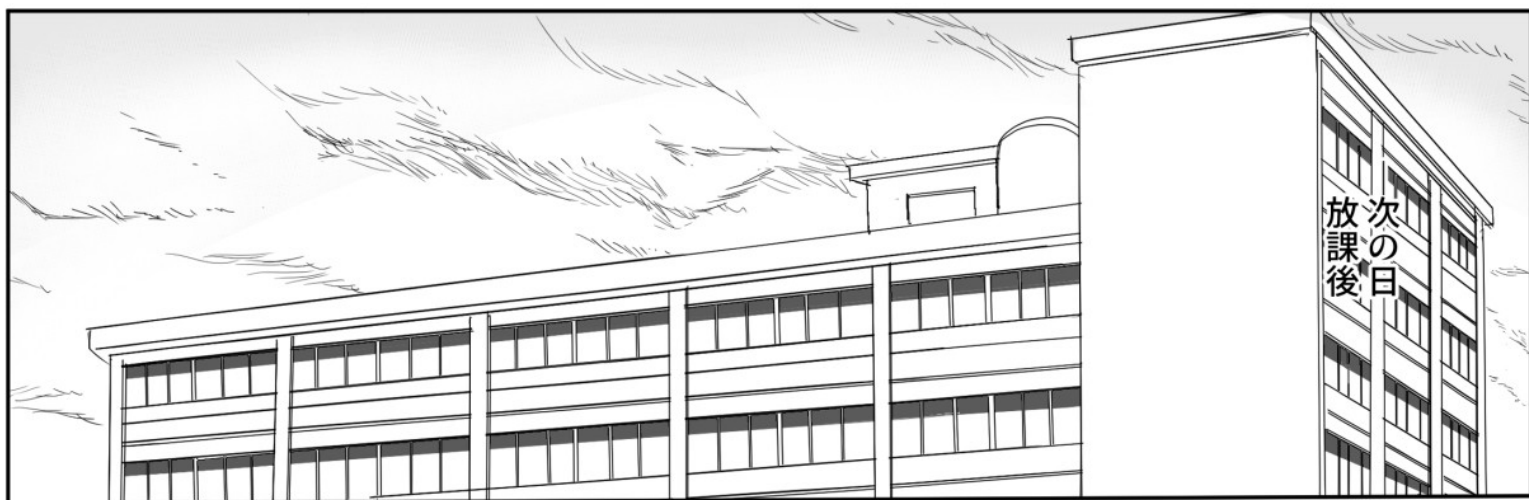
フフフ…

思い出して
来ただろ？

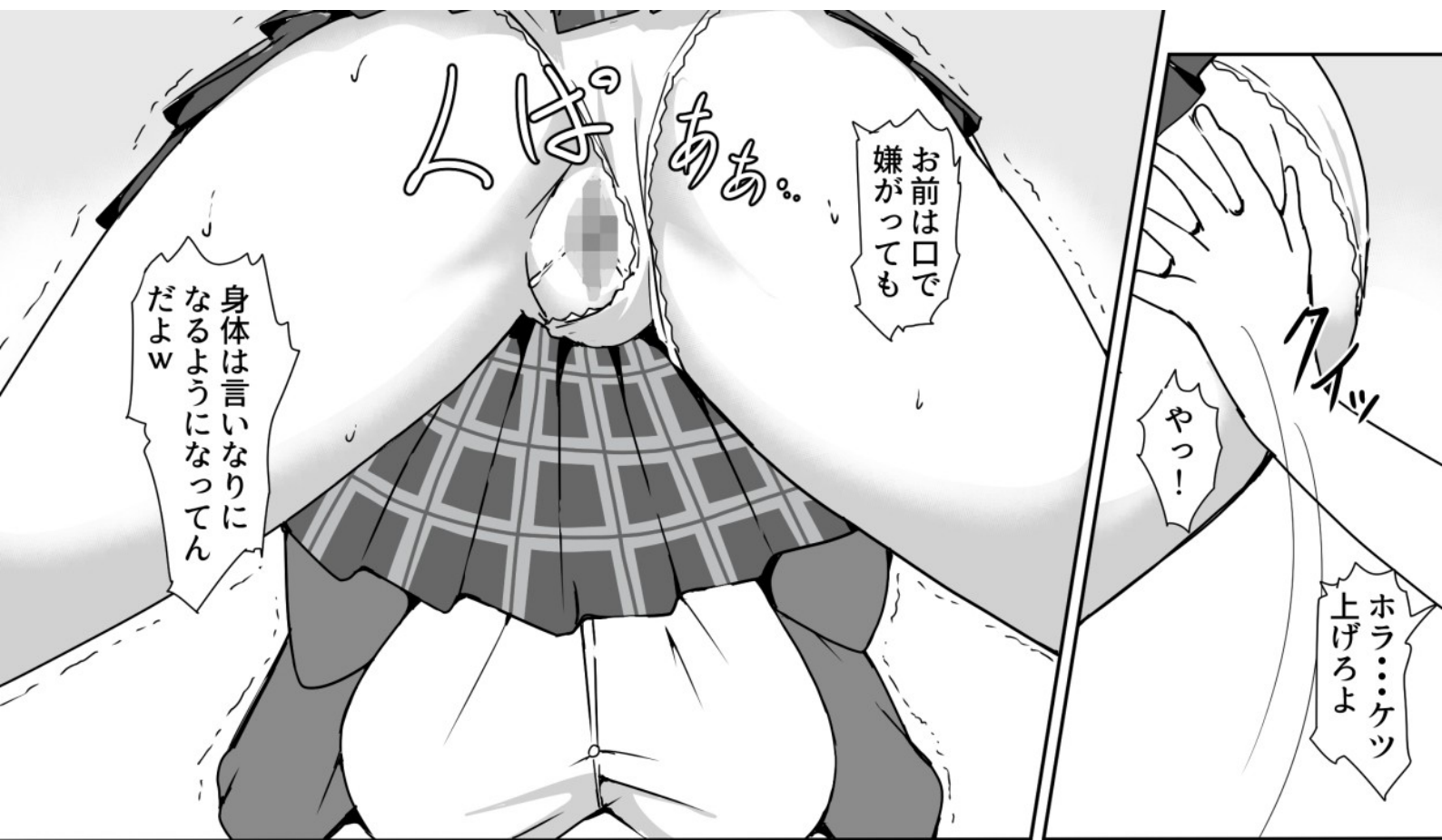


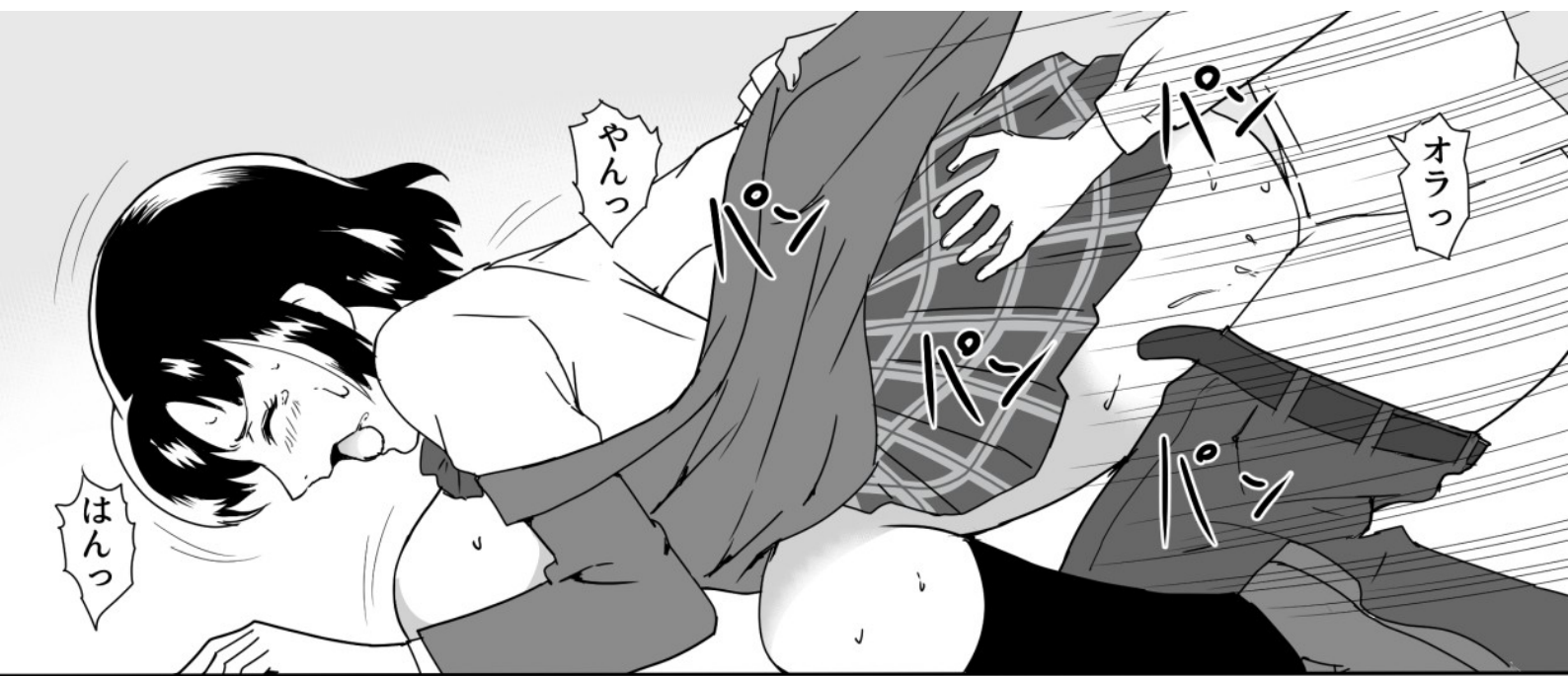


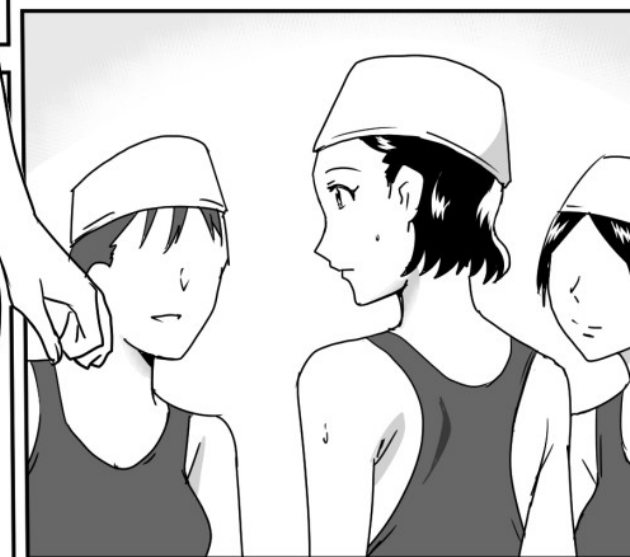
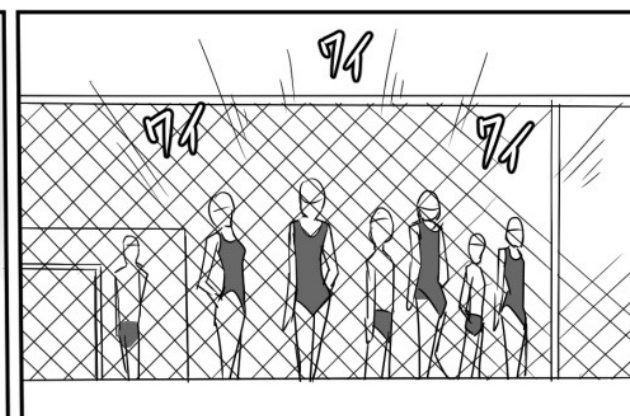


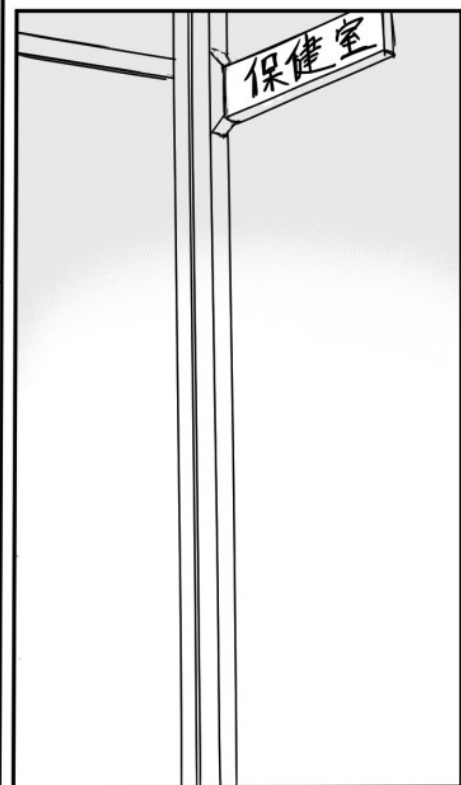


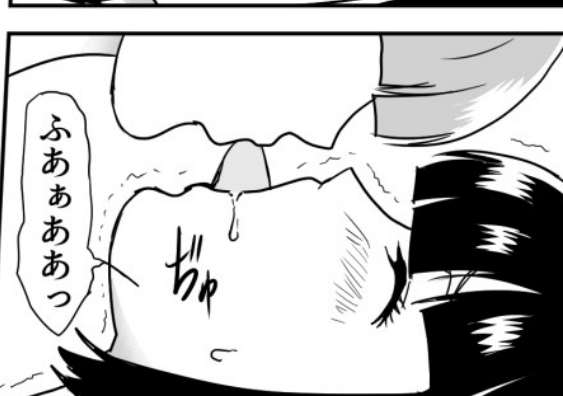
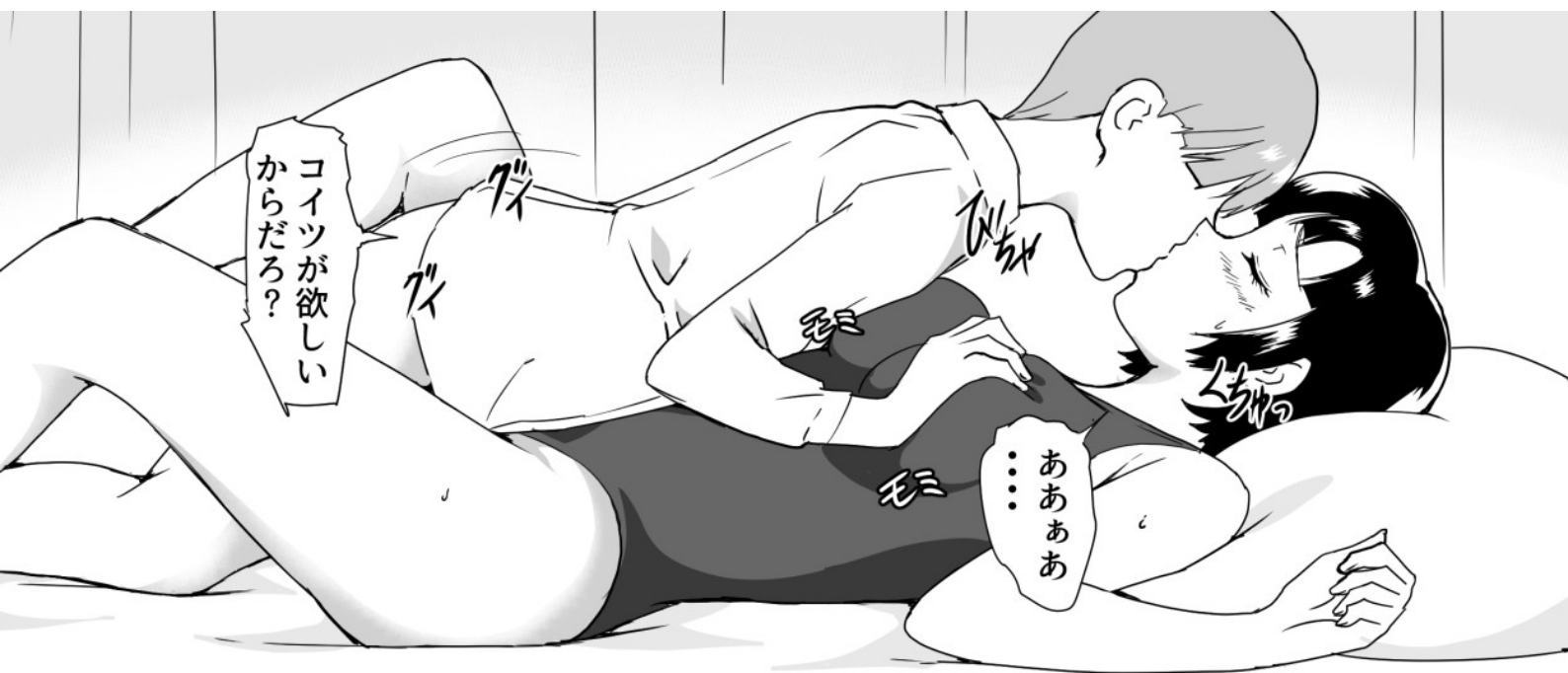


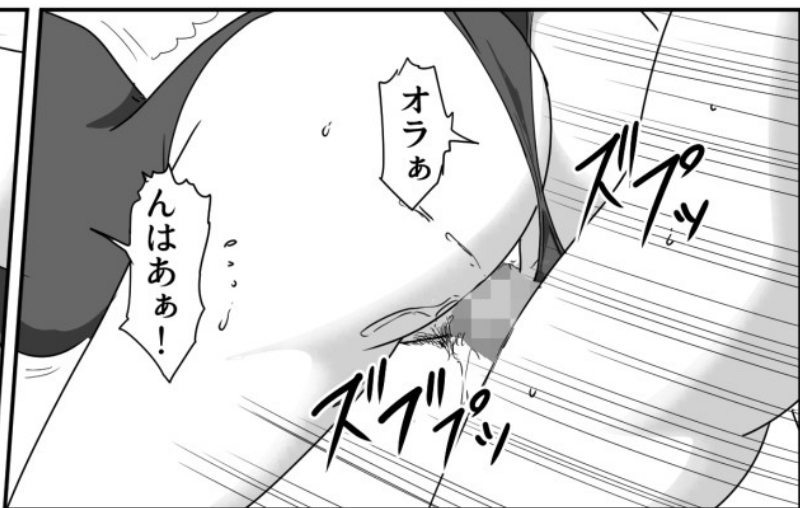


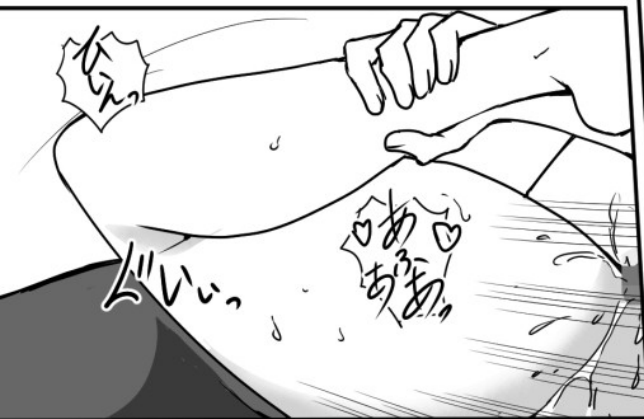
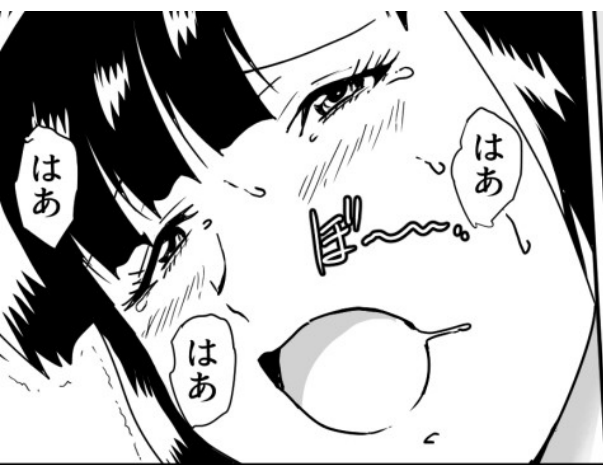












ああああああ
ああああああ
ああああああ!

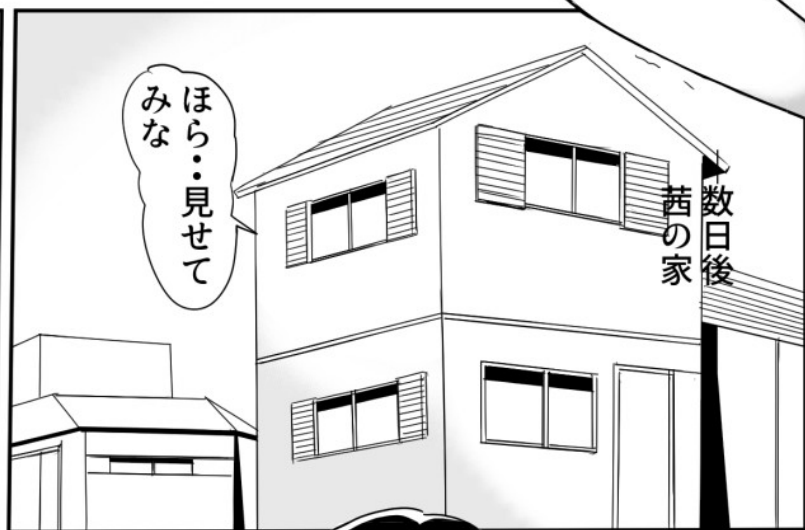
そこイヤあああ
あああああんっ

身体の芯にチンポを
焼き付けてやるよ...

そっ...そんなあ

あくううあああああ
あああああああああ

もう逆らえ
ないようにな











幼馴染催眠

2022年1月8日 潮みや著

- *この物語はフィクションです、実在の人物・団体・事件等とは一切関係がありません。
- *本作品の無断転載、複製、WEBへのアップロードを禁じます。
- *18歳未満閲覧禁止。